

はじめに

ウィズコロナ時代とはまさにこのこと。今年度は4カ月を超える長期の緊急事態宣言に、オミクロン株急拡大によるまん延防止等重点措置が適用された。昨年度と同様、度重なる事業の軌道修正を余儀なくされた。この様な状況下、県内企業への健康経営の普及・啓発・浸透を図るための次なる一手を打てたのは、支援先企業や関係機関の皆様と上手く連携ができていたからこそである。その中で、今年度の事業のポイントを3つにまとめた。

1つ目は、うちの健康経営宣言の推進体制の整備である。

健康経営推進の第一歩は宣言することから始まる。その第一歩を踏み出してもらうための仕組みづくり、二歩目を踏み出した際の各種支援のあり方を関係機関と協議を重ね道筋が見えてきた。環境を整え相乗効果を高め、県内企業の健康経営支援の充実を図る。→ **5P参照**

2つ目は、経済団体との連携で企業への健康経営浸透を図る。

県内経済団体の健康経営への関心度も高まり、取り組みも活性化しつつある。そこに関係組織がテコ入れすることで起爆剤となる。これまで

交わることが少なかったテーマ“経営”と“健康”が、組織同士でつながり有機的なプロジェクトとして始動する。→ **6P～9P参照**

3つ目は、健康経営の継続的な取組支援の精度を高めること。

健康経営で組織としての結果を出していくためには、短くても数年単位と長期的な視野に立ち、取り組みを継続していく必要がある。新規企業の支援に加え、過去支援企業に対し定点観測を交えたフォローアップを行うことで双方の支援精度を高めていく。→ **17P参照**

人生100年時代を世に出した世界的経済学者は、今後 GDP(国内総生産)と並び、「健康寿命」が国の重要指標となると指摘する。世界の健康長寿と言われながらも、働き盛り世代の健康問題を抱える沖縄。今こそ、県内企業と行政・関係機関が一体となり健康経営に真摯に取り組み、2040年の健康長寿おきなわの復活を目指す時。沖縄の健康長寿は先人から受け継いだ『宝』であり、次世代へ引き継げるかどうかは、私たちの日々の職場環境づくり、生活と行動の選択次第である。

《事業概要》

事業名:令和3年度 職場の健康力アップ促進業務
所管:沖縄県保健医療部健康長寿課・(公財)沖縄県保健医療福祉事業団

事業期間	2021年8月～2022年5月
支援期間	2021年11月～2022年2月
支援企業	新規17社・前年度フォロー13社

- ・職場における健康づくりの実施の支援
- ・健康経営支援情報収集・整理
- ・関係機関との連携
- ・職場における健康づくりの普及啓発
- ・経済団体への取り組み促進
- ・健康経営普及啓発パンフレット制作

職場の健康力アップガイド



目次

健康経営の基礎知識	04
『うちの健康経営宣言』をして健康経営を始めませんか?	05
【座談会】	
経営者と考える健康経営実現への道筋 ～経済団体で取り組むことの可能性～ 公益社団法人 北那覇法人会青年部会役員	06
持続可能な健康経営の4つのステップ	10
4つのステップに合わせた実践支援	11
【健康経営の取組事例】	
株式会社 リウデン	12
有限会社 三崎工業	13
株式会社 西自動車商会	14
イカリ消毒沖縄株式会社	15
大成設備工業株式会社	16
●継続取組企業	
興南施設管理株式会社	17
株式会社 沖縄ダイケン	17
【健康経営レポート】	
取組企業への事前アンケート調査	18
取組企業・団体一覧	19

